

第72回全国大会宮城大会に参加して

- 1 期日 令和5年8月24日（木）・25日（金）
- 2 会場 「カメイアリーナ仙台」他
- 3 テーマ 『豊かな杜につむぐ虹の光』～しなやかな強さで生き抜く力～
- 4 参加者 34名（内：高P連同行者26名）
- 5 分科会 第1「地域教育」・第2「学校教育」・第3「レジリエンス教育」・
第4「情報交換会」・第5「防災・減災教育」・第6「主催者教育」
- 6 記念講演 仙台育英学園高等学校 硬式野球部監督 須江 航 氏

①はじめに大会に先立ち、松島震災復興クルーズにより、東日本大震災の復興の様子についての研修を行いました。船内で震災を経験された語り部の方から「震災後自宅へ帰るのに全て徒歩だから3日かかったこと」、「遺体は早く収容しないとカラスに突つかれる」こと等、実際に経験しないとわからないお話を聞くことができ、大変衝撃を受けました。また、近い将来起こるといわれている南海大地震に対し、一層気を引きしめなければ、と改めて感じました。

②1日目（第2分科会）

「ICTで広がるキャリアデザインの光」～多様な挑戦で広がる世界～に参加しました。講師の安藤明伸氏の話は大変分かりやすく、今は歴史的な大きな転換期であること、AIと人間の共生が始まり、自分が実現したいことを言語化する力が必要で、プログラミング的思考が大切であること。コンピューターを理解し、上手に活用していく力を身につけることは、将来どのような職業に就くとしても、きわめて重要であること等のお話がありました。

また、パネリストの登本洋子氏の『『探究的な学習』に真剣に取り組めば、キャリア選択に影響を与え、進路の具体化や大学生以降の学びに繋がるというお話が心に残りました。



③2日目（開会行事・表彰式）

本県からは 安芸高校 PTA 会長 清岡豊氏、禰原高校前 PTA 会長 西村麻理子氏、伊野商業高校 PTA、四万十高校 PTA、高P連元会長 川北康弘氏、高P連前事務局長 中村哲夫氏が受賞されました。これまでの PTA 活動に感謝いたしますとともに、改めて敬意を表します。おめでとうございます。



④（記念講演）

伝わる言葉～失敗から学ぶ～

講師は前々日甲子園準優勝を決めた須江監督です。壇上に万雷の拍手で迎えられました。現役時代、選手としての自分は他の部員にかなわないという実体験を、いやというほど味わってきたそうです。その後、人生の大きなターニングポイントともなった、創部間もない中学校の監督になり、9年後には全国大会で優勝にまで導いたというお話に大変感銘を受けました。「名選手が必ずしも名監督とは限らない」という言葉を聞いたことがあります、まさにこのことではないでしょうか。たくさん苦勞した分、大輪の花を咲かせることが出来たのだと思いました。

⑤結び

宮城大会に参加し、現地でしかわからない貴重な体験をすることが出来ました。また、高知県からたくさんの方に参加していただき、ありがとうございました。来年の茨城大会へもたくさんの方の参加をお待ちしています。



（高P連事務局

廣瀬 縁）